

とよかわ



- 新病院関連事業を含む補正予算を可決! ... p2
- 一般質問で25人が市政を問う! p4
- 4月~6月の委員会報告! p13

定例会本会議の状況

6月定例会では、22年度補正予算を始めとした20議案のほか、同意2件、報告2件が提出されました。そのほか、請願1件、議員発議の意見書1件がありました。

主な議案と審議結果

補正予算

◎一般会計補正予算
(第1号)

22年度一般会計歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ21億5千24万6千円の追加
主な内容

・新市民病院建設にかかる蔵子線整備事業費として16億4千467万8千円。

・緑の分権改革推進事業費として、1億3千500万円。

・ICTふるさと元気事業費として、2億3千975万5千円。

・緊急雇用創出事業関連として、8千409万円。

原案可決。

条例の一部改正

◎職員の育児休業等に関する条例及び勤務時間、休暇等に関する条例

「産後・パパ育休」の新設等、制度の拡充を

図る。

原案可決

契約

◎デジタル同報系防災行政無線整備工事請負契約の締結

旧豊川市区域に未整備であった同報系防災行政無線の整備と、旧4町区域で運用している同報系防災行政無線と接続をする工事など。
原案可決

請願

◆巡回バス等の実現を
求める請願

【請願者】

豊川市美園
鈴木とき子

【請願の要旨】

旧小坂井町住民は、市役所まで行かないと用が足せないことが多くなり、自動車を運転できない高齢者も今後増加する中、公共施設へ気軽に行ける巡回バス等の実現を要望する。

【審査】

経済文教委員会での審査の結果、趣旨採択となり、本会議においても、採決の結果、趣旨採択となりました。

議員が 提案した 議案

◆「鳥羽く伊良湖航路」の存続に向けた施策を
求める意見書

【意見書の要旨】

三重県鳥羽港と愛知県伊良湖港とを結ぶ「鳥羽く伊良湖航路」は、三重県伊勢志摩地域と愛知県東三河地域を結ぶ重要な航路として、また、浜松市から和歌山市に至る国道の海上区間として、両地域発展の一翼を担っているが、運航する伊勢湾フ

エリー株式会社は、高

速道路料金の値下げ等の影響により、本年9月末日をもって廃止すると発表した。

本航路の廃止は、航路の起終点である三重県鳥羽市、愛知県田原市はもとより、伊勢志摩・東三河地域の観光、水産物輸送及び地域間交流等に重大な影響を及ぼす。

よって、国においては、伊勢志摩・東三河地域にとって重要な「鳥羽く伊良湖航路」の存続に向けた施策を、早急に講じられるよう強く要望する。

【審議結果】

議員全員異議なく、可決し、意見書を提出しました。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

①趣旨採択
請願の願意については理解できるが、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすること。

国民健康保険条例の
一部改正に反対!

景気の悪化で、非正規雇用で働く市民の加入が増えている一方、国の国民健康保険制度への負担割合が減っており、制度そのものが危うい状態にある。今回の改正は、国の税制改正に伴うもので、高額所得者への優遇措置も含まれている。国の税制改正に反対する立場から、国民健康保険条例の一部改正に反対する。

主な討論

国民健康保険条例の
一部改正

国民健康保険条例の
一部改正に賛成!

賛成

今回の改正は、景気の回復や不動産取り引きの活性化に資する目的の税制改正に基づくものであり、中間所得者層の保険料を軽減する効果があり、非自発的失業者の保険料の軽減を図るなど、十分に国民健康保険の加入者及び財政運営に配慮がなされたものと言えることから、国民健康保険条例の一部改正に賛成する。



議決状況の一覧

■6月定例会 ○賛成 ×反対

緑風一緑風会(13) 未来一とよかわ未来(11) 自民一自民党豊川市議団(5) 市民一市民フォーラム豊川(5)
公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(3) ※ ()内は所属人数

議案名	議決結果	会派別賛否状況					
		緑風	未来	自民	市民	公明	共産
65 22年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	×
66 22年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
67 22年度病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
68 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
69 職員退職手当支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
70 国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×
71 水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
72 病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
73 火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
74 市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○
75 市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○
76 新たに土地が生じたことの確認	可決	○	○	○	○	○	○
77 公有水面埋立に伴う字の区域の設定	可決	○	○	○	○	○	○
78 蒲郡市と豊川市との間の「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託	可決	○	○	○	○	○	×
79 新城市と豊川市との間の「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託	可決	○	○	○	○	○	×
80 北設案部設案町と豊川市との間の「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託	可決	○	○	○	○	○	×
81 北設案部東栄町と豊川市との間の「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託	可決	○	○	○	○	○	×
82 北設案部豊根村と豊川市との間の「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託	可決	○	○	○	○	○	×
83 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
84 デジタル同報系防災行政無線整備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○
同意3 固定資産評価審査委員会の委員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○
同意4 監査委員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○
報告1 21年度一般会計繰越明許費に係る繰越し	報告	-	-	-	-	-	-
報告2 土地開発公社の22年度事業計画の報告	報告	-	-	-	-	-	-
請願13 巡回バス等の実現を求める請願	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	×	趣旨採択	趣旨採択	○
意見1 「鳥羽～伊良湖航路」の存続に向けた施策を求める意見書の発議	可決	○	○	○	○	○	○

報告1、報告2については、報告案件につき採決はありません。

市政を問う! 一般質問

美馬ゆきえ	「大木地区企業立地」「国道151号バイパス」「子ども手当」「いこいの広場」「保育所の駐車場」
足立直一	「新地方公会計制度」「高齢者施設火災」
小林琢生	「大木地区企業用地開発」「COP10と本市の生物多様性対策」
野本逸郎	「新市民病院建設事業における財政運営」「下水道事業における雨水対策」「小坂井東小学校屋内運動場(体育館)改築工事」
大野良彦	「本市の防災対策」「サイン整備計画」
米谷俊子	「姫街道アンダー計画の進捗率」「区画整理事業の進捗状況と区画整理事業施行地区内の課税」
柳田通夫	「地域福祉推進活動の現状と活性化」
小林洋一	「市役所本庁舎における建築基準法上の既存不適格の状況と、県条例の『人にやさしい街づくり』」「特別養護老人ホームの状況」
石原政明	「豊川市の農業振興」「豊川市の林業振興」
堀部賢一	「生活保護世帯への自立支援と年金問題」
井川郁恵	「豊川市の防災体制」「男女共同参画基本計画の策定にあたり、DV(配偶者等からの暴力)防止」
太田直人	「本市の水道施設の耐震化」「本市の一人暮らし高齢者に対する福祉施策」
松下広和	「子ども手当の支給」
西川米子	「本市の中心市街地活性化」
二村良子	「総合計画における行政、協働」
淳乙	「変革期の日本の農業に対する本市の取り組み」
野中泰志	「豊川市における観光行政」「豊橋市首都圏活動センターの活用」
牧野敏雄	「行政改革」「公有財産の貸付制度」
大嶽理恵	「豊川市の雇用対策」「情報公開と政策立案過程への市民の参画」「この地域の産科医療体制」
富田潤	「歩行者に対する施策」「たばこ対策」
波多野文男	「スポーツ振興計画」「陸上競技場の改修工事と駅伝大会の誘致」
安岡寛子	「平和行政」「福祉政策などの財源」「豊川市の地域経済の発展」
深井徳美	「国民健康保険事業の課題認識」
佐藤郁恵	「元豊川市職員の名古屋高等裁判所判決後の本市の対応」「新市民病院建設に関わって、財政計画と差額ベッド代」
藤原宏樹	「本市の子ども・若者に対する施策」「外国人が快適に観光できる環境の整備」

General question

一般質問

大木地区企業立地の同意収集の状況は?

美馬 ゆきえ

【問】大木地区企業立地の同意収集の状況は。

【答】同意率は約90%である。4名の未同意者のうち2名分については区域除外も可能であり、事業区域の見直しも検討し、100%の同意収集を急ぐ。

【問】国道151号一宮バ

イパス整備の進捗状況と今年度の見通しは。

【答】昨年度までに交差点の協議や一部用地の取得、測量を実施した。今年度も続行の予定であったが、県からの予算の獲得が難しい。事業推進に向け、地権者の理解を得ていき、

新公会計制度に基づく財務諸表の活用と、住民への公表は?

足立直一

【問】新地方公会計制度に基づく財務諸表の活用と、住民へ公表は。

【答】新豊川市としての活用は、本年度の作業終了後からと考える。分析結果を予算編成や政策決定等に活用することから、情報の信頼性と正確性を高める必

要があり、第三者機関の分析も必要と考える。公表については、要約版の作成や、視覚的に見やすい工夫をする。

【問】グループホームの状況と防火体制は。

【答】本市には9カ所

性

ある。消防法が改正され、收容人員からみた

予算の獲得ができれば、すぐに対応したい。

【問】いこいの広場のパターンゴルフ場を無料化すべきでは。

【答】修繕も必要と考えていたが実施できない状況であり、来年度から無料化としたい。広場全体としても、園内の道路を活用した、ジョギングやウォーキングの利用促進を図る。

防火管理や消防用設備の設置義務の範囲が拡大し、これに合わせて説明会を開催した。

【問】緊急査察の結果から、防火体制に不備のある施設への指導は。

【答】進捗状況を確認し、必要があれば現場へ赴き指導を行っている。違反については、警告書等の交付も考えなければならない。

大木地区企業用地開発に対する地元の考えは？

小林 琢生

【問】大木地区企業用地開発に対する地元の考えは。

程の見直しは。

【答】すでに同意をされている方々や企業庁との交渉を考え、工程

【答】地元には、もうしばらく交渉期間がほしいとの要望と、地権

者代表と町内会が一体で事業を完成したいという強い思いがある。

【問】マニフェスト工

【答】31年度までの環境基本計画を計画的に

新市民病院建設事業にかかわる財政負担は？

野本 逸郎

【問】新市民病院建設事業にかかわる財政負担は。

【答】病院施設整備基金と財政調整基金の取り崩しにより、財源の確保を図る。

【問】将来の健全な財政運営の考えは。

【答】自主財源の確保

や事務事業の見直しに努めることにより、財政の健全性が確保でき、市民サービスの低下を招くことがないような財政運営ができるものと考えている。

【問】旧小坂井町地内の雨水整備方針は。

【答】平井ポンプ場の

実施する。講演会、イベント、環境教育等を行い、認識を深めたい。

【問】自然環境を守っていくための対策は。

【答】動植物の生物種や個体数を把握し、方針を確立するため、本

宮山、宮路山周辺の生態調査をする。また、豊川版レッドデータブックを作成し、啓発

に努めていきたい。

整備を実施する。今後の雨水対策計画の中で、雨水浸透施設は有効であると考える。

【問】小坂井東小学校屋内運動場改築工事の計画は。

【答】24年度に実施設計を行っているが、財源の確保ができれば、計画の前倒しをすることも可能である。

防災に関し豊橋技科大に委託した研究内容とその成果は？

大野 良彦

【問】防災に関し豊橋技科大に委託した研究内容とその成果は。

【答】災害時の水や食料などの物資輸送について、必要なトラック台数や供給元の検討がなされ、その結果をもとに豊川陸運協会や市内給食業者7社と協力

協定を締結、さらに従来2日分であった備蓄を3日分に増強した。

【問】新サイン整備計画の内容と公表時期は。

【答】新市の文化財や施設の有機的活用を期

し、昨年策定、本年度から実施に入っている。市内横断の連絡調整会議で新市の一体感の醸成、調和のとれた街並みの形成ができるよう、

史跡ボランティアの声も聞きながらサイン設置を進める。公表は、遅れているので若干の修正後直ちに行う。

【問】避難所情報なども計画に入れる考えは。

【答】市民と市外の来訪者に共に必要な情報なので設置を検討する。

②レッドデータブック
絶滅のおそれのある野生生物について記載したデータブックのこと。

姫街道アンダー計画 事業化の見通しは？

米谷 俊子

【問】 姫街道アンダー計画事業化の見通しは。

【答】 県の方針は、現在実施中の筋違橋、白川橋の事業完了後と聞いており、新市民病院周辺の4車線化を行う24年度頃と考えている。

踏み切りについて、交通安全の認識は。

【答】 交通量も多い中、車道を狭くして歩道を確保することができない。安全対策について、県と一緒に考えていきたい。

【問】 歩行者にとって危険な状態の姫街道の

【答】 24年度以降と考えている。地域で愛されている樹木の植樹やせせらぎの整備を望む声を参考にしていく。

【問】 区画整理事業地区内の保留地、仮換地の課税は。

【答】 「みなす課税」として、西部地区は24年度の実施を検討し、駅東地区についても早期の実施を検討する。

市役所庁舎の既存不適格の状況は？

小林 洋一

【問】 市役所庁舎の既存不適格の状況は。

【答】 改修しなければならぬ項目はなく、改修に努められたいものとして、防火、避難に効果があるものが、8件挙げられている。

設置することを検討してはどうか。

【答】 「人にやさしい街づくり」という観点も含めて、調査対象の一つとしたい。

地域福祉活動推進委員会や 福祉委員の活動の課題は？

柳田 通夫

【問】 地域福祉活動推進委員会や福祉委員の活動の課題は。

【答】 地域福祉活動推進委員会や福祉委員の認知度の向上、活動者の確保や活動の積み上げができる体制づくりが必要と認識している。

先行し、福祉委員を選ぶ町内会への説明が十分ではないか。

【答】 事前に趣旨説明をしているが、説明を丁寧にする事で理解を求め、地域の福祉活動を活性化させたい。

【問】 市は、地域福祉活動の活性化に向けて

全体の把握に努め、指導的役割を果たす必要があるのではないか。

【答】 これまで、社協の自主性に任せてきたが、地域福祉計画の推進に当たり、地域福祉活動推進委員会等の地域福祉活動者は、非常に重要な組織であり、一員である。社協と連携を取りながら、活動の活性化に努めたい。

【問】 改善されるまでの安全対策は。

【答】 火災や地震を想定した訓練を実施している。案内表示についても検討していきたい。

【問】 既存不適格の是正の検討と同時に、本庁舎にエレベーターを

【答】 各施設について公募を行っており、小規模な特別養護老人ホームに3件、グループホームに3件、小規模多機能型居宅介護施設に1件の応募があった。

④既存不適格
建築時には適法に建てられた建築物であって、その後、法令の改正や都市計画変更等によって、現行法に対して不適格な部分が生じた建築物のこと。

③みなす課税
土地区画整理事業地区内の土地について、仮換地に対応する従前地の所有者や、保留地の使用者を所有者とみなし課税する、土地の固定資産税。

農産物の生産拡大を図る

取り組みは？

石原 政明

【問】農産物の生産拡大を図る取り組みは。

【答】産地直売、学校給食での消費拡大や、輸出事業を進めている。

【問】農産物制度によるブランド化の推進のほか、市は、農畜産物を商品加工し、流通販売する^⑤6次産業化の

研究実施や担い手育成、耕作放棄地解消、有害鳥獣対策を強化する。

【問】農業観光への今後の方策は。

【答】農商工連携の一つであるグリーンツーリズムを展開するため、観光協会や農協などと連携し、農業と観光を

結びつけた施策を調査、研究する。

【問】森林の保全管理に必要な造林事業や林道などの基盤整備の取り組みは。

【答】あいち森と緑づくり事業の人工林整備事業などの造林事業を推進する。着手済みの林道城山線の開設や、未舗装路の舗装工事を継続実施する。

自主防災会の問題点とその対応は？

井川 郁恵

【問】自主防災会の問題点とその対応は。

【答】役員が1年で交代するなど、活動の継続が難しい。職員が直接会長宅へ訪問しているほか、活動の牽引役となる防災リーダーを養成する、とよかわ防災リーダー養成講座を本年度から実施する。

の事前検討、協力をお願いする福祉施設等との協定締結、運営マニュアルの整備を実施していく。

【問】潜在化しやすいDV防止の取り組みは。

【答】DVの正しい知識と理解が得られるよう、パンフレットやDV防止携帯カードの配布、情報誌「ゆい」などで啓発をしている。デートDVの啓発では、市内の高校生を対象に研修会を開催している。

⑤グリーンツーリズム

休日などを利用して、農山村で自然・文化にふれたり、土地の人々との交流を楽しむこと。

⑥6次産業化

農業や水産業などの第1次産業が、食品加工・流通販売にも業務展開し、経営の多角化を図ること。

高齢者の生活保護受給者のうち、無年金者は何人いるのか？

堀部 賢一

【問】高齢者の生活保護受給者のうち、無年金者は何人いるのか。

【答】22年4月1日現在、226人中、137人。

【問】高齢による収入の減少理由での生活保護開始件数の推移は。

【答】19年度12件、20年度18件、21年度29件

と上昇している。

【問】高齢者の自立を含め、生活保護費の削減のため、シルバー人材センターを通じた市独自の就労支援が必要だと思うが、現状は。

【答】65歳以上の生活保護受給者には就労指導はしていないが、本

人の希望がある場合に、求人情報や内職等の情報提供をしている。

【問】生活保護費の4分の1は市の負担であり、今後、無年金者や少額年金者を増加させないことが必要だが、市の対応と考える。

【答】年金事務所と連携し、保険料納付や、免除・追納制度をしっかりとPRしたい。

⑦DV
ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者等に対する暴力や心身に有害な影響を及ぼす言動。

水道管の耐震化の考え方は？

太田直人

【問】水道管の耐震化の考え方は。

【答】新たに埋設する水道管や、他事業に伴う布設がえでは、耐震管で布設する。既設の管は水道ビジョンに基づき、基幹となる管や病院などへの配水管を優先して耐震化を行う。

【問】耐震化を積極的に進めることは景気対策としても重要だが、今後の整備方針は。

【答】29年度までに総事業費で約139億円を見込み、施設や管路の更新、耐震化を行い、基幹管路の耐震化率を現在の41割から60割に引

子ども手当の申請猶予期間が過ぎた場合の 手当支給はどうなるのか？

松下広和

【問】子ども手当の申請猶予期間が過ぎた場合の手当支給はどうなるのか。

【答】4月1日に受給資格がある場合、9月30日までに申請があれば、4月分から支給されるが、9月30日を過ぎての申請は、申請の

翌月からの支給となる。
【問】受給資格者に対し、申請主義にとらわれず、申請漏れのないよう周知、連絡をすべ

きと考えるが、対応は。
【答】猶予期間前の7、8月末に個別に申請書を郵送して手続きを促す。返信用封筒により

き上げる。合併により増えた施設の統廃合等、効率化を進める。

【問】独り暮らし高齢者支援の課題と対応は。

【答】社会的に孤立する高齢者をどう支援するかが課題。地域包括支援センターを拠点に、民生委員、町内会、地域福祉活動推進委員会などと高齢者へのかかわりなどの充実を図る。

郵送で手続きいただく。

【問】支給にかかる22年度の経費は。

【答】システム改修、事務経費で、1千75万円ほどを見込む。全額国の負担となる。

【問】手当を寄附する場合の事務処理は。

【答】受給者の申し出により、市が代理受納する。申出者の意向を伺い、有効活用したい。

諏訪地区の再開発事業の効果を どうとらえているか？

西川米子

【問】諏訪地区の再開発事業の効果をどうとらえているか。

【答】良好な都市環境の創出、民間投資を考慮した経済波及効果があった。また、固定資産税等で13億7千万円余の税収増となった。

【問】市から再開発事業への補助金総額は。

【答】補助金総額は約8億1千500万円、ほかに窓口センター整備等で約8億円を支出した。
【問】開発ビルに対する市の権限は。

【答】市長の調査権の随時実施、監査委員による3年ごとの監査、議会への経営状況報告を実施している。

【問】アピタ撤退に伴う、ユニーからの預かり敷金返済のめどは。

【答】現在、具体的な返済方法や返済時期については、ユニー側と協議中。

【問】今後も、開発ビルに支援を行うのか。

【答】できる限り支援を行っていく。

市民との協働の目標は？

二村 良子

【問】市民との協働の目標は。

【答】多くの市民が市民活動に参加するまちを創造し、地域が市民活動を支援する地域社会の構築が目標。

【問】市民活動団体への支援は。

【答】ユニフォーム購

入補助、企業と行う活動に対する補助、スキルアップ講座の開催。

【問】協働事業として

公園、道路などの美化作業を行う。アダプトプログラム^⑧の評価は。

【答】61団体、1千231人が活動しており、河川や公園の草刈り、清

掃活動等により、約1千500万円の効果がある。PRに力を入れる。

【問】地域で育っている市民活動との協働をより進めるため、まちづくり基本条例などを制定してはどうか。

【答】様々な趣旨、対象、内容のタイプの条例がある。必要性、実効性について、先進市の実状を調査研究する。

農家への戸別所得補償制度における本市の状況は？

今泉 淳乙

【問】農家への戸別所得補償制度における本市の状況は。

【答】モデル対策事業で581件を受け付けた。集落代表者に制度の概要・加入について説明をし、申請書の配付、回収を依頼した。なお、米の生産調整を実施す

る農家が対象となるため、市内農家の3割が対象外となってしまう。

【問】口蹄疫に対する市の防疫対策の状況は。

【答】県や農協などと連絡会議を開催し、迅速な連絡体制の構築を確認。緊急時には対策会議を開催し、対策を

観光振興の推進上の課題は？

野中 泰志

【問】観光振興の推進上の課題は。

【答】本市の観光客は、日帰り観光が多いこと、豊川稲荷を中心とした周遊の確保の必要性、消費不況などの社会的要因への対応が課題。

【問】観光振興のための施策は。

【答】いなり寿司を前面に出した^⑨シティブロモーションや、豊川駅東駐車場のバス料金無料化を実施中。また、観光ボランティアなどの担い手養成、市内事

業者の経営安定のため、融資制度の充実、観光協会活動の活性化などを図っていく。

【問】豊橋市の首都圏活動センターとの連携による活動の展望は。

【答】国や企業からの最新情報による施策が推進できるほか、東三河への観光客の誘致、首都圏での観光物産展の開催、企業誘致活動など、東三河地域としてシティブロモーション活動が展開できる。

⑧首都圏活動センター
豊橋市が首都圏でのシティブロモーションを行うために、東京都内に設置した活動拠点のこと。

⑨シティブロモーション
地域の魅力を地域内外に奨励すること

⑧アダプトプログラム
市が管理する道路、公園、河川等の公共施設を、市民が美化ボランティアとなって管理していく制度のこと。

事業仕分け導入に対する本市の考えは？

牧野 敏雄

【問】 事業仕分け導入に対する本市の考えは。

【答】 総合計画実施計画では、仕分けに必要な個別の事業ごとの評価が未実施なこと、また、目標値と個々の事業の関連が不明瞭となっている課題への取り組みを優先するが、情報

報収集を行い、事業仕分けの調査研究を行う。

【問】 事業目的や目標の明確化へ、ファンクションアプローチ導入の考えは。

【答】 何のための事業実施か、また、抱える課題の解決に必要なならばファンクションアプ

審議会、協議会等の情報公開の状況と、市民参加についての考えは？

大嶽 理恵

【問】 審議会、協議会等の情報公開の状況と、市民参加についての考えは。

【答】 53機関中、会議内容が公開されている機関は23機関、会議の傍聴が可能な機関は9機関である。ホームページでは、担当課へ問

い合わせができるシステムも設けている。

【問】 公募委員の登用の状況と選任についての考えは。

【答】 2機関で登用している。どのような部門に公募委員を登用できるか検討していく。

【問】 重複して選任さ

ろーチを始め、多くの手法の活用を検討する。

【問】 財源確保のため、地方自治法改正による行政財産貸付の考えは。

【答】 市の施設へ自動販売機を設置する業者への一般競争入札制度を、23年度の早い時期に導入したい。空スベースの貸付は、将来的な活用を見極めた上で、慎重に検討する。

れている委員の状況は。

【答】 2つ以上の機関に選任されている方は5人、連区長会長にあつては9つ兼任している。できるだけ重複

しないように努める。

【問】 市民の意見提出の方法は。

【答】 インターネット上システムでの意見募集の方法を紹介し、関係部署ごとに取り組む。

歩行者の安全確保の対策は？

富田 潤

【問】 歩行者の安全確保の対策は。

【答】 歩道を新設していくことが最善の策であるが、かなりの時間と経費がかかることから、緊急性の高い道路については、道路反射鏡や安全施設の設置、路肩をカラー舗装すること

「通学路における安全・安心な歩行空間の確保」の観点から、車道との区分を明確にするために路肩部のカラー舗装をする。中部小学校周辺を整備した後は、桜木小学校、三蔵子小学校、一宮東部小学校を順次整備していく。

【問】 無煙たばこの本庁舎での対応は。

【答】 一般的なたばこと同様に、喫煙場所以外での使用を禁止する考えである。

【答】 事故抑制対策のカラー舗装は、今年度4カ所実施する。また

①ファンクションアプローチ
問題を、一度ファンクション（機能、効用）に置き換えてから解決しようとする技術のこと。

本市での総合型地域スポーツクラブの設立、育成の考えは？

波多野 文男

【問】本市での総合型地域スポーツクラブの設立、育成の考えは。

【答】本年度は、内容や運営などの基本形態を検討。その後、重点的に推進するモデル中学校区を1つ選定し、早期の設立に努める。

【問】校区体育振興会の役割と関係は。

【答】スポーツを始め、行事開催を役割と考えている。スポーツクラブとの緊密な連携、協力は必要と考える。

【問】陸上競技場改修工事のスケジュールは。

【答】22年度、管理棟

平和市長会議への加盟の考えは？

安間 寛子

【問】本市が抱えてきた戦争の悲しみと平和への取り組みを世界に向けて発信するステーションにきていると考えるが、平和市長会議へ加盟しないのか。

【答】よそに誇れる平和祈念式典を行っており、次のステージへと

の機運が高まれば、検討はしていきたい。

【問】中小企業者の厳しい状況に対し、固定経費補助の考えは。

【答】市においても厳しい財政状況のもと、固定経費補助の考えは持っていない。

【問】154の自治体で行

改修及び器具庫新設工事。23年度、走路など競技場部分の改修、2カ年で実施。

【問】駅伝のまち豊川にふさわしい大会の規模・開催時期は。

【答】23年度末竣工に合わせた開催も考えているが、長距離トラック種目の競技会開催も含め、市陸上競技協会と調整し、検討したい。

【問】住宅リフォーム・持ち家助成制度を実施しないか。

【答】制度設計での公共性、審査の関係、公平性の課題、厳しい財政状況などがあり、まずは情報収集に努める。

【問】新規就農者の生活支援を行わないか。

【答】生活費支援金対策の調査は行いが、現段階では考えていない。

国保加入者の平均所得・保険料の年次推移は？

深井 徳美

【問】国保加入者の平均所得・保険料の年次推移は。

【答】世帯当たりの平均所得は、昭和63年度が227万円、平成19年度は、155万円である。

一人当たりの平均保険料は、昭和59年度が4万2千125円、平成20年度は、8万832円となっている。

【問】国保会計総収入に占める国庫負担割合の年次推移は。84年以前のレベルに増やすように国に求めよ。

【答】国庫負担割合の推移は、昭和59年度は19・4割、平成19年度は19・8割となっている。全国市長会などを通じて、国の負担拡充を求めている。

【問】平成21年度の繰越金7億円を保険料抑制財源とする考えは。

【答】前年度繰越金が予算時より多く見込める。今後の収支を見込む中で、どの程度まで保険料抑制に充てられるか精査していく。

パワーハラスメントに対する市の取り組みは？

佐藤 郁恵

【問】元豊川市職員の名古屋高裁判決を受け、パワーハラスメントに対する市の取り組みは。

【答】21年4月にOJT推進マニュアルを作成し、全管理職に配布し、周知徹底を行った。管理監督者の適切な管理指導でパワーハラを防止できるかと考えている。

【問】一般職員へのパワーハラの研修、相談できる環境づくりへの取り組みは。

【答】21年4月にOJT推進マニュアルを作成し、全管理職に配布し、周知徹底を行った。管理監督者の適切な管理指導でパワーハラを防止できるかと考えている。

【答】パワーハラに特化した研修は行っていない。第三者機関の窓口ではないが人事課などでも相談に応じている。

【問】新市民病院の建設により、医師の増員計画があるが、確保の見込みは。

【答】現状より8名増員で計画。臨床研修医の採用で可能と考える。

【問】差額ベッド代を引き下げる考えは。

【答】希望制だが、病院側の都合で入る場合は費用はかからない。新病院でも同様に扱う。

子ども・若者育成支援推進法の施行を受け、新たなネットワーク整備の考えは？

藤原 宏樹

【問】児童虐待を始め、ひきこもり、ニート、いじめ、不登校等、子供や若者に対する施策は、幅広く市の各課に

関係する。子ども・若者育成支援推進法の施行を受け、新たなネットワーク整備の考えは。

【答】本年度、国の子ども・若者支援地域協議会体制整備モデル事業を、県内では豊橋市、春日井市が行う。組織体制や支援施策の情報を収集し、本市の施策につなげたい。

【問】友好都市無錫市新区への観光セールスの取り組みの考えは。

【答】無錫市新区に限らず、緩和されたビザ発給基準を満たした中国人観光客へのセールスの取り組みは、今後の検討課題としたい。

【問】中国人観光客誘致への取り組みは。

【答】中国語併記のパンフレット等の作成や外国人への観光施策を盛り込んだ、観光指針を本年度策定する。

公職選挙法により政治家は選挙区民にこのようなことができません。

- ①祭りの寄附や祝儀 (神社への献酒や食事代の実費も含む)
- ②各種スポーツ大会への差し入れ
- ③開店祝いの花輪やお祝い
- ④葬式の花輪(親族を除く)
- ⑤お歳暮やお中元
- ⑥卒業、就職、出産などのお祝い

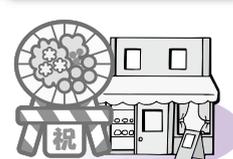
祭りの寄附や祝儀



各種スポーツ大会への差し入れ



開店祝いの花輪やお祝い



年賀状などのあいさつ状



本市議会では、市議会議員政治倫理条例により、自筆の答礼であっても年賀状、暑中見舞いなどのあいさつ状、結婚式を除く祝電や弔電も差し控えています。皆様の御理解をお願いします。

有権者から寄附などを求めることも禁止されています。

ここに掲載した一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは9月上旬にホームページで公開する会議録をご覧ください。



⑬OJT on the job trainingの略。職場にいる従業員を職務遂行の過程で訓練すること。

⑭パワーハラスメント 職務上上位にある者が、その地位及び職務上の権限を背景に人権を侵害する発言・行動で相手(部下など)に精神的な苦痛を与えること。

委員会などの開催状況

平成22年4月から平成22年6月までの開催分

4月26日	各派交渉会	5月28日	新市民病院建設調査特別委員会
4月26日	建設消防委員会	6月1日	各派代表者会議
4月30日	新市民病院建設調査特別委員会	6月1日	各派交渉会
5月7日	各派交渉会	6月7日	各派交渉会
5月10日	議会運営委員会	6月8日	議会運営委員会
5月12日	総務委員会	6月17日	各派代表者会議
5月12日	総務委員会	6月21日	議会運営委員会
5月12日	健康福祉委員会	6月21日	各派交渉会
5月12日	経済文教委員会	6月21日	各派代表者会議
5月12日	建設消防委員会	6月21日	議会改革研究会
5月12日	議会運営委員会	6月23日	総務委員会
5月12日	政治倫理審査会	6月23日	健康福祉委員会
5月17日	議会だより編集委員会	6月24日	経済文教委員会
5月21日	議会だより編集委員会	6月24日	建設消防委員会
5月28日	正副常任委員長会議	6月28日	議会運営委員会
5月28日	総務委員会	6月28日	議会だより編集委員会

新市民病院建設にかかる総事業費

	事業費	財源内訳		
		補助金等	起債(借金)	一般財源
市民病院	249億 6,000万円	6億 7,600万円	163億 2,500万円	79億 5,900万円
蔵子線等	20億 8,000万円	9億 6,500万円	8億 3,600万円	2億 7,900万円
周辺道路等の 安全対策事業	6億 9,800万円	2億 9,200万円	2億 9,100万円	1億 1,500万円
合計	277億 3,800万円	19億 3,300万円	174億 5,200万円	83億 5,300万円

- ※ 蔵子線等:蔵子線、代田八幡線、病院線、交差点2カ所の工事費、用地費・補償費
 ※ 補助金等:蔵子線廃道部分売り払い代金(2億2,300万円)を含む

◎新市民病院建設調査
 特別委員会
 5月28日
 新市民病院建設の基
 主な委員会などの内容

本設計に基づいた総事業費が、277億3千800万円となることについて調査を行いました。

④子ども・若者育成支援推進法

子ども・若者育成支援施策の総合的推進のための枠組み整備、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するためのネットワーク整備のため、平成22年4月1日に施行された法律。

◎建設消防委員会

4月26日

1件の所管事務調査を行いました。



屋外拡声子局のイメージ

◎経済文教委員会

6月24日

定例会中に開催し、1件の議案及び1件の陳情の審査と、2件の所管事務調査を行いました。

した。

そのうち、所管事務調査の1件では、公共交通に関わる基本的な考え方が示されました。①鉄道・民間バスと連

携したネットワークの構築、②人口や施設の分布状況により、地域をエリアに分けて路線を設定、③地域特性や需要に応じた交通シ

ステムの採用、④利用しやすい料金体系、⑤地域住民の参加により必要な路線の運行確保を行うことなどについて調査を行いました。

旧4町区域に整備されている同報系防災行政無線については、旧豊川市区域は未整備であったため、今年度中に①136基の屋外拡声子局の整備、②暴風雨で窓を閉め切った状態でも気づいてもらえるよう大音量を発するモーターサイレンの設置、③放送内容を電話で確認できるNTTテレドームの採用などについて調査を行いました。

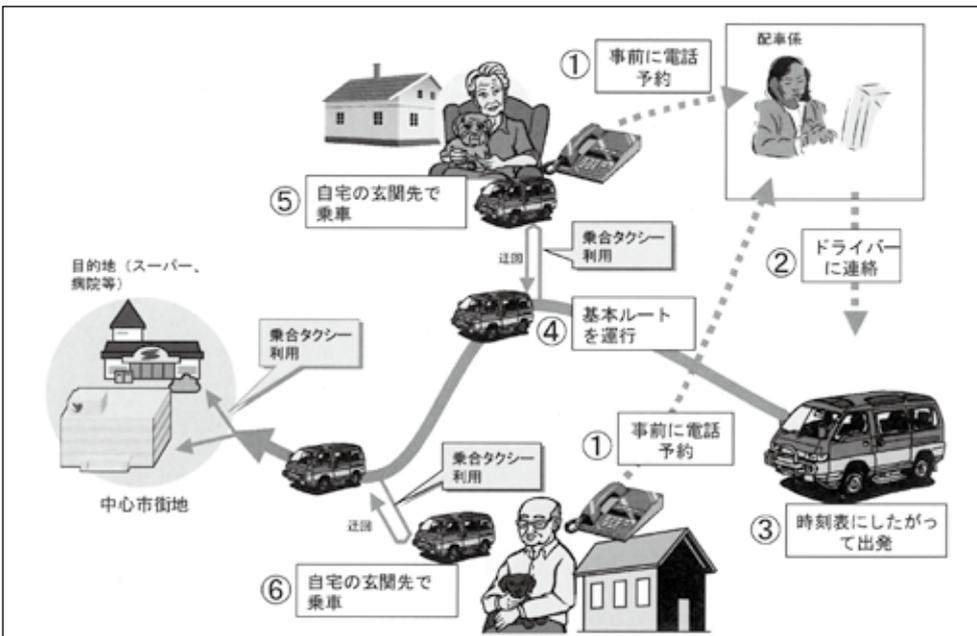
車両を利用したシステムのイメージ



●乗合バス(コミュニティバス)
小型のバス車両で、決まった時間に決まったルートを実行する。



●乗合タクシー
利用者が少ない地域に、定員10人以下の小型車両を使って運行する。



●デマンド型交通
利用者が特に少ない地域で、利用予約があった場合に運行する。

次回の定例市議会(平成22年第3回定例会)

◆会期日程予定

8月26日(木) 開	会 13時30分	9月 9日(木) 常任委員会 10時
8月31日(火) 一般質問	10時	9月13日(月) 決算特別委員会 10時
9月 1日(水) 一般質問	10時	9月14日(火) 決算特別委員会 10時
9月 2日(木) 一般質問	10時	9月15日(水) 決算特別委員会 10時
9月 6日(月) 中	日 13時30分	9月17日(金) 予算特別委員会 10時
9月 8日(水) 常任委員会	10時	9月22日(水) 最終日 13時30分

インターネットで本会議の様子をライブ(生)、録画で配信します。

豊川市ホームページ内の「市議会ホームページ」をご覧ください。

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局(Tel.89-2150)へお問い合わせください。

市議会は傍聴できます!
是非、足をお運びください。



傍聴の手続きは簡単です。

議会事務局(TEL89-2150)までお問い合わせください。

サッカー世界大会での日本選手の活躍は、私たち一人一人に熱い贈り物をくれました。ここ豊川市でも東海理化の野球チームがヤマハに4対1で勝ち、東京ドームでの都市対抗戦に出場します。「読みやすさ」を指して頑張ります! 副委員長 二村良子

編集後記

広告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。

まりくが ecoeco キャンペーン実施中

9月30日まで

- ◆自動車のエコ運転
- ◆施設の緑化・景観を高める「エコカーテン」
- ◆クールビズ(ソーネクタイ等)での業務などを実施しています!!

JAひまわり 本店 豊川市諏訪1-1
お問合せ ☎85-3171 JAひまわり 検索

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談

かわしん本店 休日相談プラザ

営業日/土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00

八南支店 日曜相談プラザ

営業日/日曜日 AM10:00~PM5:00

詳しくは窓口または休日相談プラザ予約窓口へ
(お問い合わせ先) 0120-18-9808

豊がなぐらしのお手伝い

豊川信用金庫

表紙写真 「こざかい葵まつり」の一場面です。今年は10月10日(日)に開催されます。ステージイベント、ちびっ子チャレンジ広場など、イベントが盛りだくさんです。

表紙写真を一般募集しています。詳しくは議会事務局まで。